

2025 年度 東洋鍼灸専門学校 自己評価報告書

東洋鍼灸専門学校

2026 年 3 月作成

2007年に学校教育法及び学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施、公開が義務化されたことを受けて、本校では2009年3月に自己評価（2008年度版）を初めて発表いたしました。ここに2025年度版を発表いたします。

本校では、自己評価について今後も計画的に実施するとともに、広い視野で内容の改善・向上に尽力していきたいと考えております。この自己評価結果を踏まえ、学校関係者評価が行なわれ、その結果は教育活動等に活用されます。本報告書をお読みいただいた方々には、今後の改善に資するためのご助言、ご意見等お寄せいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年度 東洋鍼灸専門学校自己評価委員会

統括：大浦 宏勝

委員：野田 亮、笹川 雄介、

山下 克彦、宇喜田 耕治

## 目 次

1. 教育理念・目的・育成人材像等	1
2. 学校運営	2
3. 教育活動	2
4. 学修成果	3
5. 学生支援	3
6. 教育環境	4
7. 学生の募集と受け入れ	5
8. 財務	5
9. 法令等の遵守	6
10. 社会貢献	6

## 1. 教育理念・目的・育成人材像等

本校の教育理念・目的・育成人材像については、具体的に示しているもので、学生・教職員にもよく周知徹底されている。学外への公表は、主にホームページ及び学校案内パンフレットに分かりやすく示している。学内においては全員に配布している学内規程に記載している。

2012年から、教育理念の浸透のために、創立者柳谷素霊先生の著書全50冊のうち12冊を毎年次復刻・翻刻してきた。

- ①2012年「柳谷素霊のあゆみ」
- ②2013年「秘法一本鍼伝書・万病に効く治病灸と強壯灸の秘訣・秘伝名灸図解」
- ③2014年「鍼灸医術の門・図説鍼灸実技・禁穴論／返し鍼法」
- ④2015年「鍼灸医学全書 経穴学」
- ⑤2016年「最新鍼灸医学摘要」
- ⑥2017年「鍼灸流行家になる秘訣・小児絶対健康法・家庭灸療法の知識」

2018年度以降の入学生は、在学中に上記全6冊が贈呈され読み込む。

卒業によってははり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師としての国家試験の受験資格が与えられるが、国家試験の予備校的な存在になっている学校が多い中で、本校は、はり、きゅう、あん摩・マッサージ・指圧の実技教育に力を入れ、教育一般目標、育成人材像にある臨床家を輩出すべく、カリキュラムを編成している。国家試験については、試験対策を充実させ、2025年度も、新卒者80名以上の受験校の中で、全国一位の合格率を誇っている。

教育効果を高めるために、特に専門性の高い臨床経験豊かな講師を多数招聘しているほか、新しい教育方略の開発も行っており、専用の視聴覚システムを使用した臨床実習授業や教員間での学生情報の共有など、他校と差別化できる強みを有している。

### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

#### <本校の教育理念>

本校は、創立者 鍼聖：柳谷素霊師の「温故知新」の教えを継承し、古典（素問、靈樞、難経）から始まり現代に至る鍼灸道の成果を後世に伝え、発展させていくことを教育の理念とする。

2015年に、本校キャッチフレーズを「鍼灸道の真髄 妙技神妙」と定めた。

#### <教育一般目標>

- ・長い歴史と伝統により、日本で独自に培われ発展した鍼灸医学を継承する。
- ・独立開業をめざし、プロフェッショナルにふさわしい知識と技を修得する。
- ・情操教育により、知性と教養、道徳性と社会性を備えた心身ともに健全な人間性を形成する。

#### <育成人材像>

##### 1 患者にしっかり対応できる臨床家

（患者に寄り添う臨床家）

##### 2 臨床の基礎となる知識・技量について

- ①自営開業に進む者にとっては、初年度操業に必要なレベルを体得していること。
- ②医療機関・組織の勤務を選択した者にとっては、  
一に、協調性（機関・組織のルール（規範）を遵守し指示に従う）に富み、

二に、臨床の流れと自己の役割の認識を実践に生かすことができる臨床家。

## 2. 学校運営

2021年に、毛塚鉄雄理事長が17年間の功績を残して八十歳でご逝去された。前理事長の意志を継ぎ、学生募集定数必成・国家試験全員合格を目指す。

学校運営の方針は明確となっており、育成すべき人材像も明確となっている。事業計画については毎年、明確な目標をかかげ、それらをクリアするように努力されている。

適宜開催される諸会議によって現場の状況に即時対応した学校運営が健全に行われている。運営会議が毎月開催されており、また定期的に校長が講師連絡会議を開催して現状を報告するとともに、運営方針を示し、意見を聞いている。全教職員への連絡については、毎月の教職員連絡会、都度の学内のグループウェア等で連絡するよう徹底されている。

その他に教務関連の校長によるプロジェクト会議や諮問委員会が設置されており、教育方針に基づく教育内容の標準化や問題の共有化が行われ、学校内の意思決定プロセスは合理的かつ効率的なものになっている。

新型コロナウイルスがいわゆる5類感染症になってからも、感染防止対策を一部継続しており、自動体温検知器の設置や消毒用アルコールの設置など十分な対応がなされている。今年度感染が増加している通称「ニンパス」とインフルエンザB型には、気を緩めることなく対応している。

「感染症防止対策の徹底」と「学生の学修機会の確保」を両立する工夫をしてきた。

### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

学校として毎年前進するような高い目標を掲げて改革を行っており、新しい教授方略やそのための教育設備などが充実してきている。

運営会議で幹部教職員に必要な事項は共有されている。

教員採用状況としては、優秀な本校OBを始めとする非常勤講師の登用によって、高度な専門性と時々で変動するニーズに対応している。

新型コロナウイルス感染症防止対策について、迅速に的確に対応している。今までクラスターは発生しておらず、座学・実技・臨床実習全て対面授業を実施している。

## 3. 教育活動

教育目標は学生便覧や学校案内パンフレット等に具体的に明記されており、学生および教職員に周知されている。本校では、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の養成施設として、関係法令に基づき、資格取得のみを目的とするのではなく、臨床現場において十分に通用する知識・技術・態度を備えた臨床家の育成を教育目標として掲げている。教育目標は教育期間を通じて到達可能な水準に設定されており、学生が段階的に臨床能力を身につけられるよう教育内容が構成されている。

カリキュラムは、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則等の関係法令に基づき適切に編成されており、シラバスには開講時期、担当教員、授業概要、学習目

標、学習内容、学習方略、評価方法、関連科目、教科書・参考書等が明記されている。また、実習および附属臨床施設における臨床実習では、実際の臨床現場に近い形での実務的な授業展開を取り入れ、臨床能力および総合的な応用力の養成を図っている。さらに、業界や臨床現場のニーズに対応できる臨床家を育成するため、カリキュラム内容についても適宜見直しを行っている。

教員（非常勤講師を含む）は学校養成施設認定規則に基づいて採用されており、教員研修や学会参加、臨床現場での実践を通して教育力および専門性の維持・向上に努めている。学生に対しては、クラス担任による面談やキャリアプラン作成の指導を通じて学習状況の把握および卒後の進路形成の支援を行っている。また、単位認定および評価基準は学生便覧およびシラバスに明示されており、国家試験対策授業や補習、模擬試験等を実施することで資格取得に向けた学習支援体制も整備している。

#### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

本校では、創立者柳谷素霊から受け継がれてきた技術と精神を教育の核とし、資格取得のみを目的とするのではなく、その実践を通じて社会に貢献できる臨床家の育成を目指している。

全4学科は文部科学大臣より「職業実践専門課程」に認定されており、認定から11年目を迎えている。

教育面では、実技系科目および附属臨床施設における臨床実習を重視したカリキュラムを特色としており、新カリキュラムの導入により、実技と開業を意識した授業構成の充実を図っている。また、キャリアプラン作成指導や卒業生・専門家による開業セミナー、学内合同企業説明会の開催などを通じて、卒後の進路支援を行っている。さらに、単位互換の推進による効率的な学習環境の整備や、国家試験対策授業・補習・模擬試験の実施により、資格取得率のさらなる向上を目指している。

#### 4. 学修成果

現在のところ、卒業時点での就職成果（就職先、就職者数、就職率等）とその推移については把握しており、就職率も向上しており、学内プロジェクトにおいて就職希望者に対する支援体制を強化している。

資格取得率の向上に関する対策としては、総合復習授業、国家試験対策補習・模試、過去問題練習などがあり、十分に対応している。また資格取得者数とその推移に関しても明確に把握し、事後の対応策の検討に資している。

本校では入学・退学・休学者の基本情報・推移を正確に把握しており、退学率の低減に関する対策としては、カウンセリングルーム・ハラスメント相談窓口の設置、クラス担任による個人面談等をも適宜実施し、学生の様々な不安に対応する体制を整備している。

卒業生・在校生の社会的活躍及び評価についてはある程度は把握し、また入学案内パンフレットや学校ホームページ上で就職実績・学会活動などに関する紹介を行い、在校生のモチベーション向上に資する努力をしている。

また在校生の学会発表に対して研究助成を行ない、研究発表・論文作成を奨励している。

#### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

2025年度の国家試験は、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師全てで全国平均を上回っている。資格順に、本校新卒（カッコ内、全国平均）は、100%（94.3%）、90.7%（83.4%）、91.9%（85.9%）であり、80名以上が受験した比較的規模の大きい学校の中では、新卒者の合格率が全国1位であった。

あん摩マッサージ指圧師の国家試験合格率は3年連続（2023年度、2024年度、2025年度）100%であった。

## 5. 学生支援

就職・進路指導については、就職相談室の専属職員がクラス担任と協働して対応している。就職相談室の業務内容としては①進路ガイダンス、②開業支援セミナー、③進路調査（年2回）、キャリアプラン作成、④希望者による個人面談を実施している。

学生相談については、基本的には担任が対応している。またメンタルケアに関しては、カウンセリングルームを設置し、専門のカウンセラーが学生の悩みに対応している。ハラスメント相談窓口も設けている。

学生の経済面の支援については、日本学生支援機構・東京都育英資金の奨学金、厚生労働省指定「教育訓練給付制度」の紹介及び担当職員による相談を積極的に行っている。学費は2期に分けて納入できるよう配慮し、それ以上の分納、延納については延納（分納）願の提出により個別に対応している。

学生の健康管理については、毎年、全学年の学生を対象に学校保健法及び結核予防法の定めに基づく健康診断を実施している。また保健室を常設して簡単な処置や休養が取れる体制を整えている。

課外活動については、学生による自主的な課外活動が行われており、届出・承認を経たサークルに対して専任教員や非常勤講師が指導に当り、学校からは指導講師に対する謝礼という形での支援を行っている。ボランティア活動に対する支援体制を、今後充実させていく必要がある。

生活環境に不安を感じている学生を対象に担任及びカウンセラーが随時相談に応じる体制を取っている。

保護者との連携については、欠席授業数・日数が基準に達した学生、特に問題のある学生について、保護者と連絡を取り、問題の解決に努めている。

同窓会は組織化され、年1回の総会、同窓会誌、同窓会名簿の発行などの活動が行われている。

### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

全4学科が厚生労働省指定の「専門実践教育訓練給付金制度」（最大192万円まで）の講座となって11年目で、1年生65名、2年生50名、3年生42名が受給している。

2021年度以降「高等教育無償化」の更新申請を続けて確認校となっている。現在対象者は6名、減免費用負担金は約300万円交付。

2022年度からは、校長主催のハラスメント防止委員会を毎月開催している。

## 6. 教育環境

近時の学生の「心の問題」の解決策となる環境整備に努めている。第一校舎には、コミュニケーションスペースとして、食事・休憩・歓談等ができる「学生サロン」が5階に、「パティオ」が玄関横にある。第二校舎には「カンファレンスルーム」があり、第三校舎には「図書館」がある。また、地下には「リフレッシュサロン」があり、全44席の静かな、癒やし空間が広がっている。

施設・設備の保守・清掃・警備などの維持管理、情報機器等のシステム管理・学内ネットワークの基幹整備については、多くが外部に委託され、学生・教職員の安全確保と適切な教育環境を維持するよう努めている。

校内には学生が私用デバイスをセキュアに接続することができる高速な無線LANが整備されている。

コロナ感染防止対策として2021年度から開始したオンライン授業については、コロナが5類感染症に移行したため、2023年度から実施していない。オンライン授業に対応できるシステムは維持しており、緊急事態発生時リモートで学習が可能になっている。また、オンラインで授業を復習できる環境を構築すべく、2026年度中に運用開始できるよう検討を進めている。

学外臨床実習は臨床能力向上のためには必要であり、本年度から3年生全員が授業として、夏季に参加した。

安全衛生委員会を設置して防災対策に取り組んでいる。例年5月には防災訓練、秋には避難訓練と消火訓練を行っている。また、定期的（毎月）に校内の防災用具や避難路などの点検、不審物の確認の為、教職員が見廻りを実施している。

#### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

第三校舎地下に「リフレッシュサロン」をオープンし、教室以外の厚生施設が数カ所ある。

本校は防災関係設備保守管理の専門業者への委託、自動体外式除細動器の設置及びその使用について講習会を実施する等、防災対策に積極的に取り組んでいる。

## 7. 学生の募集と受け入れ

学生募集活動は、学内に設けられた学生募集委員会が中心となって、年間活動計画を立案し実施している。広報・告知に関して、ホームページを中心にインターネット広告や雑誌広告等のメディアを使用し教育内容やカリキュラム・教育の特長を知らせている。また、紹介制度を設け、卒業生有志に案内し、学校説明会（募集イベント）にも協力いただいている。

SNS対策として、インスタグラム・Facebook・LINE・X(旧Twitter)で授業の様子やイベント情報を公開。特にインスタグラムではライブや動画配信を行い、フォロー増加対策を行っている。イベント動員対策として、校内見学や体験入学以外に、体験型イベントや大浦校長、卒業生による東洋医学講座を年間10回実施した。

志願者の問い合わせには専用の窓口(入試事務局)を設置し応答体制を確立している。入学選考については、学生募集要項に「総合型選抜(旧AO)入試」「社会人入試」「高等学校推薦入試」「特別入試」「平日入試」の入学選考方法及び選考基準を明記している。

学科別の合格率・辞退率、最近の学科別学部別の入学者推移のデータを正確に把握しているが、さらに学科別学部別応募状況の今後の見通しデータを作成し、対策を協議し、実施に移していく。

### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

- ・2026年4月入学生の約9割は社会人である。
- ・入学選考時に受験生に対し実施している受験生アンケートによると、受験生が本校受験を決めた理由として、教育成果はもちろん、上位に学校の校風や教育方針等が占めているのが特長である。カリキュラム、特別授業や課外特別授業への興味も例年上位にある。また、（本校出身のみならず他校出身の）卒業生や治療院の先生に紹介された等の結果も出ている。
- ・夜間部学生募集対策として、体験入学や毎週の夜間部向け見学会の充実はもちろん、夜間実技体験・女子会等のイベントも適宜開催している。  
更に土曜日の入学相談会も毎週実施し、参加者数の35%(昼間部・夜間部合計)が出願に繋がっている。
- ・一般の方向けに、東洋医学認知度UP「公開講座」を12回開催。加えて1月には鍼灸・マッサージ資格のPRとして、医師や訪問マッサージ大手社長を招いた講演会を開催した。

## 8. 財務

財務比率を専修学校の全国平均と比較すると「経営の状況」は、人件費比率、人件費依存率が高く平均を上回っている。本校は実技重視の伝統校であり、従って通常授業はもちろん、特別授業・課外特別授業等にも優れた講師陣を多数招聘していることもあり人件費率が高いこととなる。「学生数関係」で見れば入学定員充足率、収容定員充足率は安定しており問題なく自己資金は充実している。2023年度以降は定員割れが続いているが、今後も全学科定員充足を目指す。「財政の状況」は、全項目平均以上であり、健全である。

年度予算編成にあたっては収入、支出科目等の状況を見て予算配分可能額を設定している。

現在、監査は外部監事2名が選任されて年1回決算時に行われている。

### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

職業実践専門課程に認定されていること、高等教育の無償化の確認校となっていることにより、ホームページで資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表等を情報公開している。

## 9. 法令等の遵守

学校教育法、専修学校設置基準、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則等関係法令を遵守するとともに、所轄官庁等からの通知や変更事項が生じた場合の届出等に対しても都度迅速に対応している。

昨年度は、私立学校法改正による寄附行為の改定を実施した。2025年度は、学校教育法の改正に伴い、学則の改定を実施した。新しい学則は、2026年4月1日に施行される。

個人情報に関しては、「学校法人素霊学園 個人情報保護規程」、「個人情報保護方針」として策定され、後者はホームページで公表されている。

学生等(新入生,在校生,卒業生)の個人情報を収集、更新する際には、必ず書面にて個人情報の取扱いについての注記を記載している。また、2024年度は、「プライバシーマーク」の認定申請を行

い、2024年6月に認定を受けた。2026年からも継続的に運用するため、2026年2月には、JIPDECによる更新の現地審査を受けた。今後も個人情報保護を適切に管理できる体制を維持する。

自己評価に関しては、NPO法人 私立専門学校等評価研究機構の定める基準に従い、学内の自己評価委員会が中心となって実施し、報告書を作成している。

全4学科が文部科学大臣から「職業実践専門課程」として認定されていることから、学校関係者評価委員会を随時開催し、報告書を作成し情報公開している。

「高等教育の無償化」について、更新申請をして2025年度も確認校となったことから、ホームページでの情報公開もされている。

#### ●特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

2020年に行った寄附行為変更においては、本旨の他に、全条文につき適正な表現に改正している。

2021年10月15日に、鍼灸あん摩マッサージ指圧科昼間部及び夜間部について所轄の関東信越厚生局による指導調査があったが、「要回答」となる指摘事項はなかった。

2024年7月19日に、鍼灸科昼間部及び夜間部について所轄の東京都保健医療局による指導調査があったが、「特段、問題は確認されませんでした」との通知を受けている。

2024年12月6日に私立学校法改正に伴う「寄附行為」の変更について認可された。

学校教育法に伴う「学則」の変更について、2026年1月19日に受理された。

## 10. 社会貢献

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献については、東洋療法学校協会へ所属し各種委員会活動を行うことを通じて、学術の普及・発展に取り組んでいる。

本校では、鍼灸・東洋医学を広く知っていただくための公開講座を定期開催している。協力患者様発信によるクチコミ効果も大きい。

2023年11月に、欧米・アジア諸国からの17名の一団が本校にて日本鍼灸を学んだ（国際的な鍼灸の勉強会ツアー）。2024年度は希望する卒業生も参加するなど、規模を拡大して実施した。都合により2025年度の開催は叶わなかったが、2026年度には再び実施する計画がある。今後も継続的に国際交流を含め、伝統・技術の継承に注力する。

諸外国の学校との連携および留学生の交流については、現在行っていないが、今後は前向きに検討する必要がある。

また重要な社会問題に対する学校としての取り組みは行っているが、今後さらに積極的な取り組みが求められる。

所轄警察署および行政のボランティア・キャンペーンが復活して以来、本校も学生・職員による参加を再開している。本校の学園祭である「東鍼祭」も2024年度から開催しており、今年度も多数の来場者を迎えた。